

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。当社第158期中間連結会計期間(2025年4月1日から2025年9月30日まで)の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

レンゴーグループは、「Vision120」で掲げた目標の達成とさらにその先の取組みを見据え、「Creating the Future through Packaging/包装で未来を創る」のスローガンのもと、拡大した事業規模を活かし、事業内容を質的に強化することで、長期的な視点で創出価値の増大、新たな価値の創出を目指してまいります。あわせて、人本主義を企業経営の柱に据え、全要素生産性の向上による付加価値を従業員への分配と次の成長につなげる「成長と分配の好循環」を持続的に実現するとともに、SDGsを見据え、DXにも積極的に取り組みながら、環境負荷の低減、働き方改革の推進、パートナーシップ構築宣言に基づく適正な取引、法令遵守をはじめとするESG経営をさらに前進させることにより、事業活動を通じて企業の社会的責任を果たしてまいります。

レンゴーグループは、社会における自らの果たすべき役割を自覚し、より良い社会、持続可能な社会の実現のために、たゆみない努力を続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年12月



代表取締役会長兼CEO

大畑 清

事業の概況

当中間連結会計期間のわが国経済は、物価上昇や米国の通商政策等による影響が一部にみられるものの、政府による各種政策効果、雇用・所得環境の改善、設備投資の持ち直し等により緩やかな回復基調が続きました。

以上のような状況のもとで、レンゴーグループは、あらゆる産業の全ての包装ニーズをイノベーションする「ゼネラル・パッケージング・インダストリー」= GPI レンゴーとして、営業力の強化、積極的な設備投資やM&A等を通じ、業容拡大と収益力向上に鋭意取り組んでまいりました。

また、創業120周年を迎える2029年度を最終年度とする中期ビジョン「Vision120」を策定し、本年5月に公表しました。2050年の未来にも新たな価値、より大きな価値を提供し続けられるように、2030年までの5カ年をその基礎固めの期間と捉え、より強固な価値創出基盤の確立に向けて、グループ一丸となって取組みを開始しました。

なお、労務費や物流費の上昇、環境対策、パートナーシップ構築宣言に則った価格対応など、バリューチェーン全般にわたるコスト構造の変化に対し、コスト吸収の内部努力を続けていますが、安定供給、品質維持のため、板紙、段ボール、紙器製品について本年10月納品分からの価格改定に取り組んでいます。

当中間連結会計期間の売上高は497,220百万円(前年同期比100.4%)、営業利益は19,974百万円(同100.9%)、経常利益は20,037百万円(同91.6%)、親会社株主に帰属する中間純利益は11,033百万円(同58.4%)となりました。

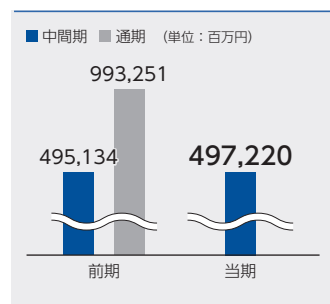
当社は、業績の動向、財務状況、今後の事業展開等を総合的かつ長期的に勘案して、継続的かつ安定的に配当を行うことを維持しつつ、利益成長にあわせた増配を目指す累進的な配当政策を基本としております。第158期の中間配当金につきましては、これらを十分に踏まえるとともに、中期ビジョン「Vision120」で掲げた配当水準に向けて、前期の中間配当金に比べ5円増配し、1株につき20円とさせていただきます。

また、当期の期末配当金につきましても、前期の期末配当金に比べ5円増配し、1株につき20円、年間配当金は1株につき40円とさせていただきます。予定としております。

2026年3月期 中間期 業績ハイライト

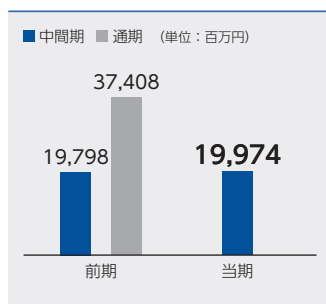
売上高

4,972億20百万円



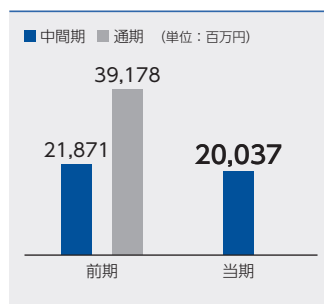
営業利益

199億74百万円

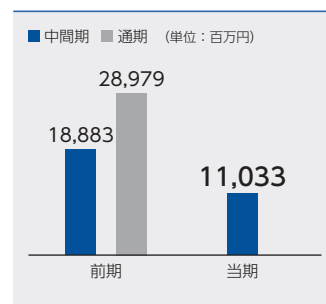


経常利益

200億37百万円

親会社株主に帰属する
中間(当期)純利益

110億33百万円



決算情報は当社ウェブサイトでもご確認いただけます。
(株主・投資家情報) <https://www.rengo.co.jp/financial/>



セグメント別の概況

板紙・紙加工関連事業

売上高

2,598億41百万円

営業利益

125億52百万円

売上高構成比

52%

売上高の推移

514,720
256,437

■中間期 ■通期 (百万円)

259,841

前期

当期

業績のポイント

板紙・紙加工関連事業につきましては、固定費や物流費の上昇等があったものの、前年度に実施した製品価格の改定が寄与し増収増益となりました。

主要製品の生産量は、次のとおりであります。

(板紙製品)

板紙製品につきましては、段ボール需要が底堅く推移したことにより、生産量は1,233千t(前年同期比100.8%)となりました。

(段ボール製品)

段ボール製品につきましては、青果物向けが低迷したものの、幅広い分野で需要が底堅く推移したことにより、段ボール2,118百万㎡(同99.3%)、段ボール箱1,809百万㎡(同100.2%)となりました。

軟包装関連事業

売上高

964億91百万円

営業利益

53億56百万円

売上高構成比

19%

売上高の推移

181,614
89,270

■中間期 ■通期 (百万円)

96,491

前期

当期

業績のポイント

軟包装関連事業につきましては、製品価格の改定と販売量の増加により増収増益となりました。

重包装関連事業

売上高

232億90百万円

営業利益

10億88百万円

売上高構成比

5%

売上高の推移

44,977
22,938

■中間期 ■通期 (百万円)

23,290

前期

当期

業績のポイント

重包装関連事業につきましては、電気材料分野の好調と製品価格の改定が寄与し増収増益となりました。

海外関連事業

売上高

983億05百万円

営業利益

1億47百万円

売上高構成比

20%

売上高の推移

213,094
109,072

■中間期 ■通期 (百万円)

98,305

前期

当期

業績のポイント

海外関連事業につきましては、欧州における自動車産業の低迷の影響により重量物段ボールの採算が悪化し、減収減益となりました。

その他の事業

売上高

192億91百万円

営業利益

6億30百万円

売上高構成比

4%

売上高の推移

38,844
17,415

■中間期 ■通期 (百万円)

19,291

前期

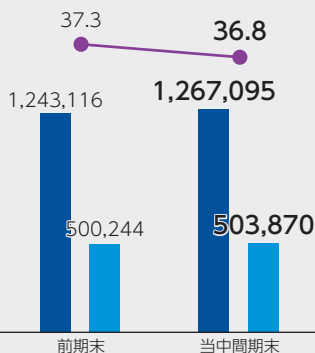
当期

業績のポイント

その他の事業につきましては、連結子会社の増加により増収となりましたが、運送事業における労務費の上昇等により減益となりました。

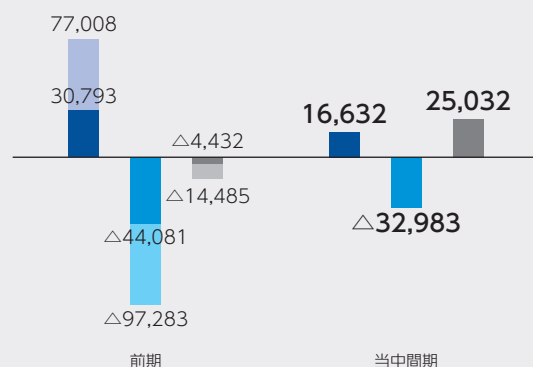
連結資産状況

■総資産 ■純資産 (百万円)
●自己資本比率 (%)



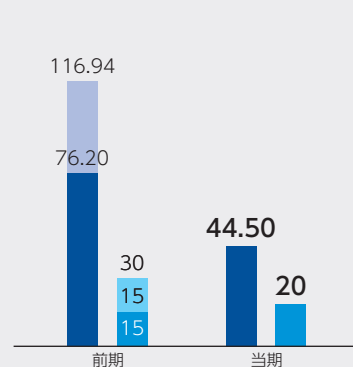
連結キャッシュ・フロー状況

営業活動によるキャッシュ・フロー ■中間 ■期末 (百万円)
投資活動によるキャッシュ・フロー ■中間 ■期末 (百万円)
財務活動によるキャッシュ・フロー ■中間 ■期末 (百万円)



1株当たり情報

1株当たり当期(中間)純利益 ■中間 ■期末 (円)
1株当たり配当金 ■中間 ■期末 (円)



イタリアにおける重量物包装資材メーカーの持分取得

本年7月、トライウォール社は、同社の100%出資子会社を通じて、Scart Imballaggi社（スカート社）の持分100%を取得しました。

当社は、トライウォールグループを通じて、今後もさらなる供給体制の充実を図り、多種多様なニーズに応える包装ならびにサービスを提供してまいります。

本件のニュースリリースはこちら



スカート社 ビッビエーナ本社工場

セルロースナノファイバー「ファインナチュラ™」が外壁用下地調整塗材の硬化促進剤として採用



施工時の様子(左:複合した塗材の壁面塗布の様子 右:タイル貼りの様子)
写真提供:株式会社タイルメント様

本年8月、当社が開発したセルロースナノファイバー「ファインナチュラ™」が、株式会社タイルメントの外壁用有機系下地調整塗材向け硬化促進剤（製品名「MSアクセル」）に採用されました。

当社は、今後もファインナチュラ™の用途拡大に向けて取り組んでまいります。

本件のニュースリリースはこちら



球状セルロース粒子「ビスコパール®」が陸上養殖の水質浄化材向けに採用

本年9月、木材由来のパルプを原料とした球状セルロース粒子「ビスコパール®」について、陸上養殖の水質浄化材としての用途が実証実験などを経て一定の効果が確認され、陸上養殖システムを開発・販売する企業で採用となりました。

当社は、今後もビスコパール®の用途開発を通じて、陸上養殖など水産事業活性化への貢献や、環境負荷の少ない水産資材の開発に取り組んでまいります。

本件のニュースリリースはこちら



球状セルロース粒子「ビスコパール®」

YouTube「レンゴー株式会社公式チャンネル」に動画を掲載しています。



陸上養殖での貢献を目指す! ビスコパール推進プロジェクト



当社広告が第74回 日経広告賞 環境・サステナビリティ部門 最優秀賞(環境大臣賞)を受賞



本年3月3日の日本経済新聞朝刊に掲載した全段広告「水産業の常識を詰め替えよう。」が、第74回日経広告賞 環境・サステナビリティ部門で最優秀賞(環境大臣賞)を受賞しました。

当社は、今後も機能性段ボールをはじめとするものづくりを通じて、環境課題の解決に取り組んでまいります。

その他の情報は、当社ウェブサイトをご覧ください
<https://www.rengo.co.jp/>



会社の概要／株主メモ

会社概要 (2025年9月30日現在)

商 号 レンゴー株式会社
英 文 社 名 Rengo Co., Ltd.
設 立 年 月 日 1920年(大正9年)5月2日
(創業 1909年(明治42年)4月)
資 本 金 310億6,675万円
上場証券取引所 東京
従 業 員 数 4,450名
主要な事業内容 ①段ボール、段ボール箱、紙器その他紙加工品、
軟包装の製造、販売
②板紙(段ボール原紙、白板紙等)の製造、販売
主要な事業所
本 店 大阪市福島区大開四丁目1番186号
本 社 事 務 所 大阪市北区中之島二丁目2番7号
中之島セントラルタワー
東 京 本 社 東京都港区港南一丁目2番70号
品川シーズンテラス
段ボール工場 26工場
紙 器 工 場 3 工場
製 紙 工 場 4 工場
セロファン工場 1 工場
研 究 所 1 研究所

役員一覧 (2025年9月30日現在)

*取締役会長兼CEO	大川 坪	清
*取締役社長兼COO	三 本	祐
取締役兼副社長執行役員	長 谷 川	美
取締役兼副社長執行役員	堀 一	郎
取締役兼副社長執行役員	井 博	史
取締役兼副社長執行役員	佐 貞	登
取締役兼副社長執行役員	奥 義	士
取締役兼副社長執行役員	玉 正	雄
取締役兼副社長執行役員	住 功	之
取締役兼副社長執行役員	岡 幸	一
取締役兼副社長執行役員	田 幸	男
取締役兼副社長執行役員	野 幸	む
取締役兼副社長執行役員	陰 幸	均
取締役兼副社長執行役員	野 幸	純
取締役兼副社長執行役員	本 幸	浩
取締役兼副社長執行役員	尾 幸	次
取締役兼副社長執行役員	西 幸	典
取締役兼副社長執行役員	古 幸	純
取締役兼副社長執行役員	望 幸	拓
取締役兼副社長執行役員	柏 幸	諭
取締役兼副社長執行役員	山 幸	之
取締役兼副社長執行役員	戸 幸	信
取締役兼副社長執行役員	森 幸	仁
取締役兼副社長執行役員	柴 幸	伸
取締役兼副社長執行役員	本 幸	彦
取締役兼副社長執行役員	安 幸	稔
取締役兼副社長執行役員	衣 幸	二
取締役兼副社長執行役員	佐 幸	仲
取締役兼副社長執行役員	熊 幸	之
取締役兼副社長執行役員	下 幸	子
取締役兼副社長執行役員	藤 幸	保
取締役兼副社長執行役員	田 幸	顕
取締役兼副社長執行役員	京 幸	昭
取締役兼副社長執行役員	西 幸	行
取締役兼副社長執行役員	宅 幸	幸
取締役兼副社長執行役員	南 幸	裕

(注) 1. *印は、代表取締役です。
2. 取締役 佐藤義雄、奥正之、玉岡かおる、住田功一の各氏は、社外取締役であります。
3. 監査役 常陰均、藤野正純、浜本光浩の各氏は、社外監査役であります。

株主メモ

事 業 年 度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会 毎年6月開催
基 準 日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要のある場合は、あらかじめ公告して
定めた日
公 告 の 方 法 当社ウェブサイトに掲載する。
<https://www.rengo.co.jp/>
株主名簿管理人および 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
株 主 名 簿 管 理 人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事 務 取 扱 場 所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電 話 照 会 先 0120-782-031
(受付時間 9:00~17:00、
土・日・祝日および12月31日~1月3日を除く)
ウ ェ ブ サ イ ト <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>
単 元 株 式 数 100株
証 券 コ ー ド 3941

株式のお手続きに関するお問い合わせ先について

お問い合わせの内容	証券会社等の口座に 記録された株式 (一般口座)	特別口座に 記録された株式
・住所、氏名等の変更 ・単元未満株式の 買取・買増請求 ・配当金の振込指定 ・相続	お取引の証券会社等	三井住友信託銀行
・一般口座への振替		
・支払期間経過後の配 当金に関する問い 合わせ		三井住友信託銀行

「統合報告書 2025年3月期」を発行しました

詳しくはこちら



中期ビジョン「Vision120」を策定しました

詳しくはこちら



レンゴー株式会社

本社事務所 〒530-0005 大阪市北区中之島2-2-7 中之島セントラルタワー
東京本社 〒108-0075 東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス
<https://www.rengo.co.jp/>